【はしご車の役割】

マンションやビルなど中高層の建物災害で活躍します

長岡京消防署のはしご車は、中高層の建物火災や高所の救助事案で活躍する消防車です。
この消防車を運用する部隊は、

はしご隊　です。

はしご隊は隊長以下５名で編成されています。
ちなみにはしご隊は、長岡救助隊が兼任しているため、災害の種類によって車両を乗り分けて現場に向かっています。

特徴

1　長さ 11.41m、幅 2.49m、高さ 3.67m、AT 車
2　はしごの長さ 35m（マンション 11 階の高さ）
3　最大放水量 2,000L/min
4　はしご先端屈折仕様
5　先端のバスケットとリフター（昇降機）を使用し救出活動実施

車両の両サイドから『アウトリガー』を張り出し、はしご車が転倒しないように安定させています。
『アウトリガー』を張り出すことによって、通常の車幅よりも広いスペースが必要となります。

高所に逃げ遅れた要救助者を、地上まで安全に救出することができます。